

## 試案に関する意見整理表

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
1	2-1 花巻市立図書館4館の状況	蔵書の情報が4ページに書かれております。花巻市の図書館全体の蔵書数が44万冊で人口1人当たり4.3冊と記載されておりますが、7ページの1番上から3行目、3.1冊という記載がなされていて、誤差をどのように読み取ればいいのかという点です。例えば、4.3冊といった場合に、4ページの下で、近隣の自治体での蔵書数との比較が掲載されております。4.7冊と書いてありますが、例えば本文に記載の4.3冊という基準で見た場合に、目立って少ないわけでもないのかなという印象を受けてしまいました。		
2	3 市民のニーズ 本計画の素案を策定するにあたり、新花巻図書館を生涯学習の拠点施設とし、市民のニーズに的確に対応できる機能を備えるよう、広く市民の意見を聞くことを目的としてワークショップや意見交換会を実施しました。	市民のニーズについて、ワークショップの結果そのものは、確かにあれもこれも言ってみたということで様々な意見があり膨大だと思えますが、全体としてどのようなニーズがそこから見出せて、当局としては、そこから何を受け取ってこの案を作ってきているのかということ、3市民のニーズという節の中にきちんと書くべきではないかなと思います。		
3	3 市民のニーズ 本計画の素案を策定するにあたり、新花巻図書館を生涯学習の拠点施設とし、市民のニーズに的確に対応できる機能を備えるよう、広く市民の意見を聞くことを目的としてワークショップや意見交換会を実施しました。	同じく市民のニーズに関して、よく言われることですが、ワークショップはあくまでワークショップです。そこに出た意見が市民のニーズの全てかということ、もちろんそうではないし、一部の方ということにはなってしまいます。市民のニーズの把握はとても大事です。この試案の検討に際して急遽行ったワークショップとか意見交換会ではなくて、やはりこれまでの何十年花巻図書館を利用してきた方々の意見やニーズ、どういうことで困っていたとか、あるいは、ずっと遡って、これまでの例えば議会や市政懇談会の中で、図書館に関して、どういった意見が市民から出されていたのか。検索すればわかりますので、グループワークだけにとらわれず、トータルで市民の中にはこういうニーズがあったのではないかと、市として把握する必要があるのではないかと思います。特に、例えば東和図書館は合併前に新しく建てました。大迫図書館は、合併後に市役所の支所の中に移ったわけです。旧花巻図書館に限らず、これまでの市内の図書館を整備してきた在り様が良かったのか悪かったのか、市民のニーズに応えたのかどうかということも含めて、検証を踏まえる必要があると思います。ですので、市民のニーズに関して、ワークショップだけ取上げるということはやはりつらいものもあるのではないかと、ということも含めて、もう少しトータルに捉える必要があるのではないかと、意見をしてお伝えしたいと思います。		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
4	<p>5-3 サービスの種類</p> <p>(1) 閲覧・貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生涯学習や読書活動、地域振興と産業創造に資する図書や資料を収集し、市民をはじめとする利用者へ、それらの情報を広く提供し図書や資料を貸出します。</li> <li>・市内各図書館及び県内外の図書館等と連携を図り、市民をはじめとする利用者に図書や資料 を取り寄せ貸出します。</li> <li>・貸出の迅速化を図るため、貸出をセルフサービスで行うことができるようにするとともに、 予約図書を受け取れるコーナーを設置します。</li> <li>・施設入居者や来館が困難な方のために、移動図書館車による図書貸し出しサービスを行うとともに、障がい者向けに図書を個別に配送する方法を検討します。</li> <li>・他館所蔵の貴重な資料等についても、電子資料で閲覧できるように努めます。</li> </ul>	<p>15ページ、サービスの種類について質問させていただきます。実際の、アクションたるもの、サービス内容たるものと、日本語の問題かと思いますが、努力目標のようなニュアンスを感じてしまう表現が混ざっているように感じます。実際に一般市民の方も読まれると思うのですが、その場合に、実際に自分たちが得られるサービスがどれで、もしかしたら得られないサービスがあると両方読み取れてしまうので、例えば15ページの閲覧・貸出の1番最後では、「努めます」と書かれております。このような表現ですと、努めた結果、サービスを得られないのかもしれないという不安感を与えてしまうと思いますので、例えば、「整備します」といったアクションの言葉で置き換えていただけると読みやすくなると感じました。</p>		
5		<p>もう1点です。後半部分は市民のニーズ、現状、課題を踏まえた上で、実際にこれから新花巻図書館はどうなるのかというところだと思うのですが、その課題を受けて新たに追加された部分はどこで、既存のサービスたるものがどれかということが、書き方だけでも分かりやすく区別されていると、読み手にとっては新しくなることで何が変わるのかが分かりやすくなると感じました。</p>		
6	<p>5-4 利用対象者別サービス</p>	<p>利用対象者別サービスに関してです。高齢者のサービスとか、障がいがある方へのサービスという点で非常に配慮があっているのではないかと思います。一方で、障がいがある方ということの中にどこまで含むということもありますが、もう少し多様性というか、いわゆるダイバーシティという発想で、多文化共生という視点のほうが、より広く配慮が行き渡ると感じています。例えば、在住外国人の方であるとか、LGBTとか、DVとかひきこもりとか、公共サービスから排除されがちの方々がいるわけです。そのあたりをもう少し包摂できるような、そういった見せ方、書き方、作り方というのが望ましいのではないかと感じたのが一つです。</p>		
7		<p>構想には図書館の運営という視点はほとんどないように思うのですが、やはり今、公共施設の運営、それから、図書館は特にそうだと思いますが、市民と共同で運営、運用してまちづくりにそれをどう生かしていくかということが必要だと思います。とりあえず整備だからということはあるかもしれませんが、当然運営の発想や思想が整備にも反映されてくるものですから、できれば、まちづくりに関わる方々が、図書館に来れば、常に新しい学び合いがあり、新しいアイデアもどんどん出てくるというような使い方ができて、そういった方々のアイデアで、より施設が生かされるというように、運営上の考え方を最初から打ち出していくというお考えがないのかと思うのですがいかがでしょうか。</p>		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
8	4 新花巻図書館整備の基本方針	個人的には目的と機能をきちんと整理したほうがいいと思います。非常に盛りだくさんではありますが、目的、機能を整理した上で、次にテーマとコンセプトをしっかりと絞っていく、そして設計段階に入っていけば、できることとできないことがはっきりしてきますので、そのあたりの作業をしっかりとやっていくことが大事だろうと思います。そういった意味で、11ページの基本方針をもう少し洗ってほしいという気持ちがあります。例えば、先人が育んできた学びの精神は、子どもたちが分かるのかということもあります。それから重点が3点示されていますが、例えばスヌーズレン教育とか、様々な機能について、たくさん出しております。非常に特色となることの押さえ、全ての市民が親しみやすく使いやすいということを具体化するとわかりやすいだろうと思います。それから3つの序列性は今は多分ないと思います。1番2番3番ということではなく、多分並列だと思いますが、歴史も大事でしょうが私は順番が逆だと思います。1番下がトップ、2番目があって、郷土の歴史と独自性は最後でもいいと思います。まず、図書館としての機能が最優先ではないのかという感想を持ちました。		
9	4 新花巻図書館整備の基本方針	方針全体を見ると、基本方針ですから、表現しにくい部分や言い切れない部分はあるのですが、言葉が多すぎるような気がします。もう少し簡潔でもいいのではないかと思います。いろいろなところに手を出していると言え失礼ですが、もう少し絞った形で優先するものと付け加えるものとオプションと、整理してもいいのではないかと思います。		
10		一関市立図書館を非常に参考にしているということで、どうしてだろうと思いましたが、人口も極めて旧花巻市の人口と、それから一関も6市町村ですが、旧一関市の人口が極めて近いということが分かりましたし、市の予算上ではちょっと一関のほうが多いかなと思いましたが、非常に似たような人口構成ということで、一関市の図書館を参考にしたんだなと思いました。		
11	6-3 整備計画に基づく具体的な空間計画	配置図を見たときに、先ほどの花巻が障がい者、高齢者のサービス対応として対面朗読等を考えていらっしゃるわけですが、2階の奥といいますか、カウンターから遠いところにありまして、このところがもう少し。一関市立図書館は2階のほうがメインで広いわけですから、そのとおりの配置になるかどうか分からないのですが、せめてエレベーターがあるとはいえ、可能であれば1階で、しかも職員が何かあったときに対応できるような、そういうところに考えることはできないかなという意見ですので、広さとかそういった全体のこともあるかと思いますが、その辺も考えてもらえれば、という印象を受けました。		
12	6-3 整備計画に基づく具体的な空間計画	第1資料の30ページですかね。以降に、開架スペースとか閉架スペースとかそんな項目がありますけれども、市川さんと前に個人的にお話したときに、できるだけ開架の割合を増やしたほうがいい、と。貴重書以外は全部開架でもいいんじゃないか、と。書架の間をブラウジングしている中で書物との出会ってというのがないですか、なんていう話をしたことがありますけれども、ここではもうすでに開架と閉架というものがあることになっちゃっていますけれども、その開架と閉架をつくることの是非に関する議論というのは、役所内であったのでしょうか。閉架という位置付けであるけれども、利用者が間に入って見ていけるというようなことにすれば私はいいと思うんですけども。		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
13	5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 ②中心図書館としての機能 ・国立国会図書館および他の公共図書館、大学図書館、専門的図書館との相互協力体制を確立し、図書館の広域利用を十分に活用することによって、より充実した資料提供を進めます。	試案の13ページに相当しますが、下から3つ目のポイントです。②の中心図書館としての機能の中にありますが、国立国会図書館および他の公共図書館、大学図書館、専門的図書館との相互協力体制を確立し、という部分ですが、実は平成29年ですが、パブリックコメントでこのことに関して私、回答しております、そこで述べたものを読み上げますと、国立国会図書館デジタルコレクションの図書館向けデジタル化資料送信サービス参加館となって、館内限定資料の閲覧を可能にする、と。それに対して市の回答です。図書館向けデジタル資料や各種データベースの閲覧など新たな図書情報システムに対応できるよう努めます。こうなっておりますけれども、当時の回答からすると、この試案の内容が退行しているように見えるんです。		
14	5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (2) 地区館の役割 ①大迫図書館…早池峰山、早池峰神楽など、山岳や神楽、民俗芸能等に関する資料 ②石鳥谷図書館…南部杜氏ゆかりの地であることから酒に関する資料 ③東和図書館…近代絵画の先駆者萬鉄五郎の生誕の地であることから、芸術に関する各分野の資料	今の、地区館の資料収集テーマのことなんですが、これを見たときに、私石鳥谷なんですけども、酒に関する資料ってありますけども、例えば、その地域の先人、例えば石鳥谷で言えば淵沢能恵さんとか、というような特別コーナーがあるわけですが、地域の子供たちが地域の先人を調べたいときにはわざわざ石鳥谷の子が花巻の中央館に来たり、大迫の先人を知りたい時に花巻までっていうのではなくて、22ページには先人や郷土資料といった本市ゆかりの先人の資料を収集したりというようなことが書いてありますが、これは地元で見れるというふうなほうが、地域の人にとっても子供たちの調べ学習にとってもいいのではないかなと思います。ですから、何となく、今現在石鳥谷の図書館では、お酒に関する資料のほかにも先ほど言った先人の資料とかあるので、その辺を含んだような…先ほどどなたかも言ってましたけど、もっと幅の広いような書き方をしたほうがいいと感じました。		
15	5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (2) 地区館の役割  【関連項目】 5-6 蔵書・資料の収集について (2) 先人や郷土資料を充実	地域の偉人、先人の所ですね、お決まりの本当に宮沢賢治とか淵沢さんとか、そういった方に加えて、もう少し幅広く、明治以降、江戸時代ぐらいだったらまだ資料があると思いますけど、それぐらいのなかで活躍された方を割とピックアップして、調べられる範囲である程度データがあるっていう状況を作っておくと、そこに来て花巻市の近代史をよく見ようっていう方、興味を持たれるんじゃないかなというように思います。もう少し幅広く、分野も経済人を入れるとか、そういうことも検討いただければいいのではないかなと感じます。		
16	5-3 サービスの種類 (2) レファレンス（相談・支援）サービス  【関連項目】 5-8 職員体制	レファレンスの2番目で、専用のレファレンスコーナーを設置とありますが、これは有能な司書を常駐させるということで理解してよろしいでしょうか。先ほど早川先生からもお話があったように、人が大事なんです。現在有能な司書さんがいないのであれば、全国公募するとか、その後は花巻で独自に司書さんを育て上げていくというか、そういう発想がとても大事だと思います。		
17	5-3 サービスの種類 (2) レファレンス（相談・支援）サービス	今、レファレンスという言葉があちこち出てきます。障害者のなかには勉強しなければ日本語を十分に取得できない人もいます。高齢者はますます横文字の日本語を出されても理解に苦しみます。日本語に直すと何ですか。		
18	5-3 サービスの種類 (2) レファレンス（相談・支援）サービス  【関連項目】 5-8 職員体制	レファレンスのところなんですけども、各コーナー、例えばヤングアダルトコーナーであったり、子供の本コーナーであったり、各部門の所に、各レファレンスの方が専門の方がいらっしゃるのととてもいいです。		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
19	5-3 サービスの種類 (2) レファレンス(相談・支援)サービス  【関連項目】 6 新花巻図書館の施設と規模 6-1 施設 6-2 施設の規模	ぜひ、子供の所には子供専用のカウンターをお願いします。		
20	5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援	中学校、小学校でも図書委員とかおりますね。中学校、高校はもちろんあると思いますけども、そういうふうな生徒さんたちの意見をきちり反映できるようなそういう場があればいいなど。先生方の意見とかもですが、生徒さんたち自身のそういう活動も、反映されればいいなというふうに思います。		
21	5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援	高校の現場の方にもですね、意見を聞いてみるということをしていただいたらいいんじゃないかなという気がしました。		
22	5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援  【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応 5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス 5-7 図書館情報システム (1) 図書管理システム	いろいろ図書館ネットワークが小中学校にきちんと構築される。その最初が、今学校図書館にある本を入力して、把握するっていうところが大事なと、そういう気がしています。		
23	5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援  【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応 5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス 5-7 図書館情報システム (1) 図書管理システム	やっぱり人のいるところに人は集まるものと、いつも思っております。ましてや人にサービスする気持ち、接客の気持ちさえあれば、人はどんどん集まる、そう思っています。現在、学校司書、免許の要らない学校司書という学校図書館法で位置づけられた方がいるんですけども、この学校司書、花巻の場合どうしても図書館から遠い学校がいっぱいあります。そういう場合、こういう学校司書さんがいれば、中央館と繋ぎ、システムでなくても繋いでくれる、必要なものを届けてくれる、そういう働きをしてくれる人のぬくもりが出てくればいいなと感じている所でございます。		
24		箱モノを作る前に、その部分を使う人たちの声を必ず聴いていただきたいということです。あの、各フロア、各年代、いろんな団体、いろんな人たちが使うわけですけども、その部分を使う人たちがどういうものを求めて、どういうふうなところなら使いやすいのか、どういうふうなところであればいいのかっていうところを、必ず聴いていただきたいということです。		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
25		<p>私、商工会議所から来ているので、建設業界側から言った時、たぶん建設部の担当になって、市のほうのご担当の方が変わって、建設に入られるのですがその辺のプロセスについてなんですけど、基本設計をして、概略の設計をした後に、詳細設計をすると思うんですけど、その両方の課程の中で設計業者さんが決まって同じ設計事務所さんになるか場合によっては違うかもしれませんが、いずれにしてもどちらも具体的に設計の仕事をする設計事務所さんに、この委員の方々と話をする機会を作ってもらってというのは、いいような気がしますね。でないとやっぱり、仕事をする方は仕事のほうで、やっぱりこれまでの実績だったりとかそれなりによかれと思ってやってるんですけど、そこまで細部についての言及は、情報として届いていないと、今みたいなのが十分に起こりうるんですよ。なので、それぞれの具体的な業者さんが仕事を進める段階の適切なタイミングでその場を設定してあげるといいような気がします。</p>		
26	<p>5-3 サービスの種類  (7) 新たなシステムへの対応  ・貴重な地域資料や、古文書、古地図などのデジタル化による保存活用を図ります。</p> <p>【関連項目】  5-6 蔵書・資料の収集について  (3) 視聴覚資料や電子資料の活用</p>	<p>市で保管している、古文書などをデジタル化してほしいという声がありました。</p>		
27	<p>5-3 サービスの種類  (7) 新たなシステムへの対応  ・貸出の迅速化を図るため、貸出の自動化や予約図書の出庫など新しい技術を導入します。  ・図書館システムや新しい技術の導入に際しては、市内図書館はもとより市内学校図書館ともネットワーク化を図れるなど、将来的な変化や進展に柔軟に対応できるものとします。</p> <p>【関連項目】  5-7 図書館情報システム  (1) 図書管理システム</p>	<p>新たなシステムへの対応の部分で貸出の自動化については子どもも含まれると思いますが、情報のデータベース化ですとか、その後の学校図書館の貸出の自動化についてはどのようにお考えなのかもう一度確認したいと思います。</p>		
28	<p>5-3 サービスの種類  (9) 図書館ボランティアとの協働  ・図書館ボランティアはその活動自体が生涯学習の機会でもあり、図書館を拠点とした参加・活動・交流ができるよう努めます。</p> <p>【関連項目】  (5) 学校図書館の支援</p>	<p>図書館のボランティア活動と、それからあと各学校でのボランティア、それから地域のボランティアの方々がいらっしゃるの、その連携も取れるようにしていただきたい。それぞれがそれぞれにそれぞれの場所で今はボランティア活動をしている状態なので、そこをやっぱり1つ共有した認識を持って、そしてその新しい図書館、中央図書館と連携を取りつつ、もっと充実したボランティア活動ができるように図っていけるような、そういうふうな体制を組みつつやっていただけたらいいな、と思います。</p>		



No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
29	<p>5-3 サービスの種類</p> <p>(9) 図書館ボランティアとの協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ボランティアが、自分の得意分野（案内、読み聞かせ、子供の相手など）で図書館に参加し関心を持つような場を提供するとともに、図書館ボランティアの育成に努めます。</li> </ul> <p>【関連項目】</p> <p>5-8 職員体制</p>	<p>ボランティアをどこまでやるかという、ある程度の仕事の項目設定というか、そこをしっかりとしないと、ボランティアを取りまとめる職員の仕事量というのも結構大きなものだと思うのですが、その辺、どこまでボランティアの方に任せるのか、仕事をいろいろお願いするかというところで、その辺具体的な人員の配置、職員の配置みたいな、片手間にボランティアを扱う司書という形なのか、やっぱりそれなりのボランティアに専属する司書の方がいるのか、その辺を当局が考えているかどうかをちょっと知りたいです。</p>		
30	<p>5-3 サービスの種類</p> <p>(9) 図書館ボランティアとの協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ボランティアが、自分の得意分野（案内、読み聞かせ、子供の相手など）で図書館に参加し関心を持つような場を提供するとともに、図書館ボランティアの育成に努めます。</li> </ul>	<p>何でもきちんとやらなきゃいけないと思うと、人を配置したりですとか、アルバイトを入れないとみたいな気持ちになったりすることもあると思うんですけど、ボランティアでやっていただいていること自体が素晴らしいことで、今現在ボランティアの方々が感じていることを話し合えるような場をちょっと設けてあげて、ボランティア同士でこうしたらいいね、というようなことを一つひとつ実現させていくだけでもかなり、状況が変わっていくと思います。そういう考え方も必要じゃないかな、というふうに感じますね。</p>		
31	<p>5-3 サービスの種類</p> <p>(9) 図書館ボランティアとの協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ボランティアはその活動自体が生涯学習の機会でもあり、図書館を拠点とした参加・活動・交流ができるよう努めます。</li> </ul>	<p>育成ではなくてサポートに入っていただくような体制があるとすごくいい。ボランティアをサポートしていただける体制が図書館にあるとすごく助かるということなんです。育成とか教育とか、ボランティアをつくり上げるために、いろいろなそういうカリキュラムを用意していただくとか、そういうことではなくて、自主的にやっている私たちのボランティアをサポートしていただけるような、そういうふうな体制であっていただきたいな、と私も思います。</p>		
32	<p>5-3 サービスの種類</p> <p>(9) 図書館ボランティアとの協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実したサービスを提供するため、図書館ボランティアと協働した事業を実施します。</li> <li>・図書館ボランティアが、自分の得意分野（案内、読み聞かせ、子供の相手など）で図書館に参加し関心を持つような場を提供するとともに、図書館ボランティアの育成に努めます。</li> <li>・子どもたちや若い世代のアイデアを生かした企画運営を行うため、ボランティアの育成に努めます。</li> </ul>	<p>ボランティアと行政の立場が違うということが、今の話の立場として出てきたということの再認識となって結構だと思うんですけど、その図書館を運営していくにあたっての理念の中に、ボランティアを決して行政サイドからの目線で育てたボランティアではない、独立したボランティアの方々の意思と行政の立場との間の…何て言うんですかね…いい関係…まさに協働なんです、これがきちっと謳われるということが必要なものであって、そう考えるとやっぱり「育成」という言葉は直さなければしょうがないですね。</p>		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
33	<p>5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応 ・貴重な地域資料や、古文書、古地図などのデジタル化による保存活用を図ります。</p> <p>【関連項目】 5-6 蔵書資料の収集について (1) 広い分野の収集</p>	<p>「新たなシステムへの対応」なんですけれども、「貴重な地域資料や云々、デジタル化」とかありますけれども、地域の文化なり先人なりを顕彰するうえで、明治以降の新聞のデータですね。簡単に言うとマイクロフィルムの閲覧ができるような態勢を取らないと、基本的な資料が今は見れないという状況で、盛岡の県立図書館とかに行かないと見れない。その辺の地域、岩手の新聞、または花巻の新聞資料、明治以降から今までのマイクロフィルムなり実物の新聞でもいいですけれども、それらのシステム化は考えているのでしょうか。</p> <p>岩手日報はできるんですけれども、その当時は岩手日日新聞とか岩手毎日新聞とか、二大新聞があったわけで、その辺のデータも貴重なものが入っているし、基本のデータを見るためにはやっぱり新聞資料にあたるというのが本当の基本の基本だと思うんですね。研究する人には。その辺、高校生なんかにもそういう研究の仕方を教えるべきだと思うんだけど、そういうふうな基本の調べ方みたいなことが、市の図書館にあれば、そういうツールがあれば、皆調べ始めると思うんですけれども、その辺の考えはどうか、とっていますが、ぜひ入れて欲しいと思っています。</p>		
34	<p>5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス</p> <p>【関連項目】 5-3 サービスの種類 (9) 図書館ボランティアとの協働</p>	<p>今は花巻市の乳幼児、幼児の実態を話すと、新子育てになってから保育園、子ども園、認定子ども園に預ける保護者が多くなっています。家庭で読み聞かせというところも、家庭で日中親と一緒にいるところが少なくなってきたいて、やっぱり幼稚園とか保育園、認定子ども園に預けて過している子が多くなってきたのが現状です。</p> <p>そこのところで、やっぱり先生たちもちろん学習の中で、幼稚園教育、保育士になるときに勉強しますが、また違う立場の人たちから、おばあさんとかおじいさんとか、そういう方々からのほっこりした、ほっとするような読み聞かせをしていただくと、すごくいろんな人にとって、いろんな声でお話の楽しさを知る機会を得るので、とてもいいかなと思います。</p>		
35	<p>5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス ・学校図書館に対し、資料を選ぶための情報を提供するとともに、情報や意見の交換を行います。また、学校を訪問して、おはなし会やブックトーク、団体貸出などを行い学校図書館運営を支援します。</p> <p>【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援</p>	<p>先日、早川先生が提案されましたけれども、学校司書について熱く語られましたけれども、私たちはそれについて中途半端だったなあ、と私自身は思っていますが、全部の学校にはちょっと無理であっても、何校かからでも始めてみようじゃないかと、くらいまで譲歩してお話してくださいなんですけれども、委員さんからは司書を入れなくても、子どもたちはコンピュータとか電子機器を使ってそこから引き出して学習に役立っている。それからもう一方は、限られた予算の中で最大限できることがあるだろう、という費用対効果の面からも話されましたけれども、しかし本当は学校に司書がいればいいことは皆さん、大方の方は思っているんじゃないかな、と思います。検討会の中で何回も一関図書館っていうお手本というか、目指す、それを越えるという言葉も出てきていますけれども、その学校司書というところだけスルーして進むことはできないと思います。本当に私たちは新しい花巻図書館をつくるためにここにいるわけですから、本当にわくわくするような図書館にしたい。私も本当にそう思います。子どもたちというか、将来大人になる人たちに、この場でわくわくするような、そういうプレゼントはできないものかと、私は本当に、先月からずっと思っておりましたので、そこのところをもう少し深めていただきたいな、と思います。</p>		
36	<p>5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス ・学校図書館に対し、資料を選ぶための情報を提供するとともに、情報や意見の交換を行います。また、学校を訪問して、おはなし会やブックトーク、団体貸出などを行い学校図書館運営を支援します。</p>	<p>「学校図書館に対し」とありますが、同じように幼児施設にはたくさん本が置いてあります。手に取りやすいところに置いてあったり、先生たちが季節で絵本を借りたりしています。やっぱり幼児施設のところでも、もしかして何かお手伝いできるようなところがあったらいいのかな、と思います。今、うちの園では、図書館のほうから幼児文庫の配本を借りていますし、公立保育園のときも借りていました。</p> <p>そういうふうに、ここには載らないんですけれども、やっぱり図書館としての役割で、幼児教育というか、就学前の子どもたちの本に親しむというところをすごく大事に考えてもらえばいいかな、と思います。</p>		



No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
37	5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス ・学校図書館に対し、資料を選ぶための情報を提供するとともに、情報や意見の交換を行います。また、学校を訪問して、おはなし会やブックトーク、団体貸出などを行い学校図書館運営を支援します。	4つ目なんですけれども、ここに学童も入れればいいのではないかなあ、と。いっぱい学童があるんですけど、その学童での読み聞かせとかも、図書館のほうに入って行って、やってあげれる機会があればいいのかな、っていうふうにもちょっと思っています。		
38	5-4 利用対象者別サービス	サービスの種類でこうやって謳って、乳幼児、児童だとかティーンズとか出てくるんですけど、妊婦さんというのを入れようとする、もしかしたら別に章立てして「妊婦さんへのサービス」ができることになるかな、と考えると、そこまで謳ったら花巻図書館すごいな、と。これはやっぱりそういう視点を持った図書館というのは売りになるというか、そこまですべていろいろ考えているんだというふうになるな		
39	5-4 利用対象者別サービス (2) ティーンズサービス  【関連項目】 6-1 施設 (7) 施設の併設等の検討	例えば地元の企業が訪問してPRしてお話を一緒にさせていただくというふうな場とかもつくってもらえれば、若い人たちも地域に残り活性化につながっていければな、ということもあるので、ワークショップでの内容で散々そういう話が出てきましたので、その辺もちょっと考えていただければ		
40	5-4 利用対象者別サービス (2) ティーンズサービス ・CD、DVDなどのメディアを10代の子どもたちの感覚に合った音楽資料と映像資料の提供に力を入れます。音楽・映像資料もリクエストサービスの対象とし、10代の子どもたちの要求を重視したサービスを行います。  【関連項目】 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 ②中心図書館としての機能	音楽とか映像の提供のところなんですけれども、CDとかDVDよりも、もうすでにリアルタイムでのデータ配信が普通になって、普通に10代とかスマートフォンを持っているので、YouTubeを見て、もうすでにかんがりの情報を直接得ているような状況だと思うんですね。ここで、何て言うんですかね、例えばYouTubeを大きな画面で好きな映像を見れるような形にすると、そこはそういう空間になってしまうかな、という感じもしますし、特に情報発信がインターネット上で出ている情報は世界中どこでも見れる情報が新花巻図書館のティーンズでも見られるという状況になるんでしょうね。で、そういう要素も確かに必要だし、それを目的にいらっしゃる子どもたちはやっぱり一定数いると思うから、それはそれで必要だと思うんですけど、花巻のリアルな、実際にアナログで動いているこの地域の状況を、ここの部分でもデジタル化して発信したり受け付けるという機能が図書館のところにあると、何て言うんですかねえ、情報発信との結節点にこの新花巻図書館がなり得て、デジタル化していない情報は地域にいっぱいあるんですけど、それを10代の子どもたちの感覚で取り入れて発信するとか、そういうような可能性もあるし、そういう場であってもいいかな		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
41	<p>5-4 利用対象者別サービス (2) ティーンズサービス ・CD、DVDなどのメディアを10代の子どもたちの感覚に合った音楽資料と映像資料の提供に力を入れます。音楽・映像資料もリクエストサービスの対象とし、10代の子どもたちの要求を重視したサービスを行います。</p> <p>【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援 (7) 新たなシステムへの対応 5-7 図書館情報システム (1) 図書管理システム</p>	<p>CDとかDVDではなくて、子どもたちはここに来てWi-Fiを使って音楽も聞けて動画も見れる。であればCDやDVDを借りるのか、というのが子どもたちの感覚なのかな、と。先ほどの藤井さんのお話のとおり、あらゆる世代が利用するので必要なんですけども、ことティーンズに限って言えば、そういった状況の中でどうなのかな。足を運ぶメリット、新花巻図書館まで足を運ぶメリットが子どもたちにとって何があるのかな、というところをちょっとリサーチしないと、このサービスのこれからのという部分は、まだ時間がある中ですので、詰めていけないのかな、なんていうふうに思ってお話を伺っていました。</p> <p>もう一つ、学校図書館との連携という部分もここに関わってくるのかな、と。新花巻図書館に行っても本を借りないと本を借りることにならないんじゃないかと、各学校にある図書館の本を借りれば、同じ市の図書館の本を借りたというふうにカウントされるのであれば、そこはいいのかなという部分も含めて、この新花巻図書館が今後どういう位置付けになるのか。センター機能の図書館だというふうな考え方でいけば、必ずしもそこに行かなくても分館は多数あってもいいんじゃないのかな、という感覚になるでしょうし、そういうところもこれから詰めていく必要があるのかな</p>		
42	<p>5-4 利用対象者別サービス (2) ティーンズサービス</p> <p>【関連項目】 6-1 施設 (2) 十分なスペースを確保</p>	<p>勉強スペース、学習スペースを必ず取っていただきたい。皆さんのフリースペースとは別に、ちゃんと学習スペースという場所を確保していただきたいということです。</p> <p>うるさくしている人たちとか、会話を楽しむ人たちのそういったフリースペースはおそらくあるんでしょうけれども、やっぱり学習スペースというところをちゃんと確保していただいて、皆が、子どもたちが静かに勉強できる場所というのを必ず確保していただきたいと思います。</p>		
43	<p>5-4 利用対象者別サービス (4) 高齢者へのサービス</p> <p>【関連項目】 5-3 サービスの種類 (1) 閲覧・貸出</p>	<p>ぜひ移動図書館についても十分高齢者にサービスができるようなことを考えていただければ、と思います。</p>		
44	<p>5-4 利用対象者別サービス (5) 障がいがある人へのサービス 図書館を利用するにあたっての障がいを取り除き、すべての市民にとって利用しやすい図書館を目指します。</p>	<p>冒頭に「図書館を利用するにあたって障がいを取り除き」と書いてありますが、障がいは取り除くことができません。</p>		
45	<p>5-4 利用対象者別サービス (3) 成人・社会人へのサービス これまでの図書館は、どちらかといえば文化、教養のための資料が中心の資料構成となっていました。花巻市の図書館では成人、社会人へのサービスを行ううえで、従来の文芸書偏重を見直し、暮らしと仕事に役立つ情報収集に努めます。</p>	<p>文化・教養のための資料を文芸書と言い換えるという日本語は適切ではないと思います。ですから、誤解のないように文言は直していただきたいというのがまず第1点です。</p>		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
46	5-4 利用対象者別サービス (3) 成人・社会人へのサービス これまでの図書館は、どちらかといえば文化、教養のための資料が中心の構成資料が中心となっていました。花巻市の図書館では成人、社会人へのサービスを行ううえで、従来の文芸書偏重を見直し、暮らしと仕事に役立つ情報収集に努めます。	この文芸書の偏重を見直しというのは、言うほど簡単にできるものではないですね。これをするためには、自館の蔵書構成に十分通じた上で、あらゆる分野の書物を的確に評価できる能力を有する、そういう人間がいないと、満足な見直しができません。これを文言だけじゃなくて本気でやろうというのであれば、委員の中にも経験豊富な図書館員はおりますから、役所内の上下関係には拘らないで、謙虚な姿勢で積極的に意見を求めるべきだと思っています。 それから、経験豊富な司書というのは、これは専門職ですけれども、この採用に対して市長は消極的であるという情報も聞こえてきていますが、新図書館が外見だけでなく中身が立派な図書館をつくるという、そういう意思があるならば、生涯学習部長は市民のために使命感をもって市長に諫言して考えを改めさせる、そういう責任があると思います。ですから皆さんの本気度が今問われていると言えます。以上です。		
47	5-5 利用方法に関する事項 (1) 開館時間 開館時間 日祝 10:00~19:00	日曜、祝日の開館時間なんですけれども、一応これは午前10時という案が出されていますが、もうちょっと1時間早めて午前9時がいいのではないかと。なぜかという、休みの日は皆さんお出かけとか、いろいろ自分の予定を入れるので、朝、早めに図書館に行って本を返して、とか借りてから出かけるみたいな、なんかそういう、子どもさんがいるところだと、意外とそういう予定を組む方が多いので、ちょっと日曜、祝日は早めの開館のほうがもしかしたらいいのかな、というふうにちょっと考えました。		
48	5-5 利用方法に関する事項 (1) 開館時間 休館日 毎週月曜日、毎月1日、年末年始、蔵書整理期間	今までと異なるのが毎週月曜の休みを取ることと、毎月1日の休みが必要かどうかというのはもうちょっと検討されたほうがいいかな、と私は感じています。		
49	5-5 利用方法に関する事項 (1) 開館時間 休館日 毎週月曜日、毎月1日、年末年始、蔵書整理期間	(蔵書整理期間について) 一般的に棚卸で2週間休むというのは、ちょっと理解に苦しむかな、と思いますので、そこのところは新しい技術も導入しているわけですから、それをきちんと使いこなしていくというような考えもやはり必要なのではないかと、思います。		
50	5-5 利用方法に関する事項 (1) 開館時間 開館時間 日祝 10:00~19:00	休日に図書館で勉強するということも多いんですけども、午前10時からの開館だと午前中は2時間しか勉強できない、と。これはとても効率が悪いという生徒がおります。ですから朝9時とか、そのぐらいで始めていただくとありがたいそうです。		
51	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	今、花巻市内の図書館の中には視聴覚資料と言われるCDとかDVDが結構少ないんですね。それをお1人が15点ずつ借りられてしまったら、すっかり図書館の中に何もなくなってしまふ、ということになっちゃうので、できたらやっぱり本とCD・DVD等の分けた形での貸出点数という形を取っていただいたほうがいいと思います。		
52	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	この対象の資料と冊数と期間ですが、まずこの計画の中に書いておいたほうがいいたろうと思われるのは電子書籍。これについては、蔵書構築計画、蔵書の整備計画と並行して進んでいくものだろうというふうに考えることができます。電子書籍がないのに電子書籍とは書けませんし。新しい図書館では当然電子書籍が視野に入ってきますので、そういうふうな書き方が望ましいかな、と考えられます。		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
53	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	まあ3週間で図書館にある資料、情報資源は区別なく15点で、というような。ただ、この15点の中に移動図書館も含まれるということでもいいのかな、と思いますが		
54	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	今、移動図書館は次の運行日まで借りることができるので、1カ月というか、貸出期間をとっていただきますので、その貸出期間を移動図書館も一緒にしてしまうと、ちょっと期間のところを工夫しないといけなくなりますね。ちょっとそこは検討の余地が必要だと思います。		
55	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	図書館が実際に出来上がるのが、例えば5年なり7、8年後だとすると、今でさえCD、DVDよりはオンライン配信というか、なっちゃっているのがさらに進んでいる状態で図書館が立ち上がる時のシステムなので、今だったら考えられる最新のものに標準を合わせるぐらいの計画をしておかないと、「今更CDなの？」みたいな、新しいのに、図書館なのに、というようなことは十分起こり得るのではないかな、と思った点が1つですね。 それから、1人15点借りて3週間借りられるのであれば、ごそっと借りて3週間全然行かないで、そのまましばらく取っておいて、というような借り方の人が増えていく方向になるんですけども、それが果たして…。そうじゃなければ、人間が読める本なんて、15点なんてやっぱり急には読めないと思うし、何を借りたか覚えていられないぐらいの冊数じゃないかと思うんですよね。10点ぐらいにして2週間にして、また来てもらってまた新しいものを借りてもらうというサイクルをつくり出してあげる期間のほうが、図書館の使い勝手とすると良いのではないかな、とちょっと感じます		
56	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	ちょっと今、一関図書館の貸出について見ましたら、私たちに渡された資料には『制限なし』と書いてありますが、こういう表記をしています。『貸出冊数、貸出期間内に利用できる冊数』まあ、各自に任せるとのことですね。要するにその人が21日以内で読めるような冊数ということで、それ以外については、DVD、ビデオテープとか1館につき5点以内。あと、予約についても15冊以内、5冊以内、というふうに『以内』というふうに書くと、15点全部というのではなくて、それこそ利用者に任せるという表記になって、ちょっとニュアンスが違ってくるかな、と思っております。		
57	5-6 蔵書・資料の収集について (2) 先人や郷土資料を充実 ・宮沢賢治や高村光太郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの多くの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした、先人関係の資料を積極的に収集・保存します。 ・先人や郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料を収集・保存し、総合的な管理と情報の集約を図ります。	②番その最初の2つに関係あると思うんですけども、これは地域で出されたミニコミ誌みたいなとか、各市民団体の機関紙とか、そういったものも含まれていると思われそうですが、あと、収集したらおもしろいと思われるのが、例えば新聞の折り込みチラシです。普通で考えると、もう数日で情報の価値はなくなってしまうはずのものなんですけれども、これをちょっと視点を変えて、数十年単位で考えると、時間が経てば経つほど資料的価値というものは増してくるものなんですよ。今はデジタルの技術がありますからかさ張らない。ということで、そういった普段捨てられてしまうようなものにも収集の目を向けてみたらおもしろいと思います。		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
58	<p>5-6 蔵書・資料の収集について</p> <p>(2) 先人や郷土資料を充実</p> <p>・宮沢賢治や高村光太郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの多くの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした、先人関係の資料を積極的に収集・保存します。</p> <p>・先人や郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料を収集・保存し、総合的な管理と情報の集約を図ります。</p> <p>【関連項目】</p> <p>6-1 施設</p> <p>(3) 先人や郷土資料のスペースを設置</p>	<p>佐藤昌介先生の本なんかもほしいなと思って図書館に行ったら、なかなかなかったんですね。やっぱりそういった岩手のゆかりの人、また花巻のゆかりの人なんかを調べるときには、そういうところが不足しているので、大変だなと思っていました。</p> <p>それで、やはりインターネットから調べたり、いろんなところから調べることもできますが、なかなか実際、今、そういった本が売っていないんで、売っているとしてもプレミアが付いて3倍、4倍の値段が付いているのでなかなか買えない。そういった本がやっぱり花巻のゆかりの図書としても重要な、と思っていますし、また、宮沢賢治関係の本なんかは、イーハトーブ館にもいっぱいありますし、そこに行くといほとんどの本が借りられるか見られますのでいいですが、あと新渡戸関係なんかもそうなんです。そういった郷土に関する書籍を調べたいと思っても、なかなか詳しく調べられなかったりしているので、この辺を充実していただきたいと思っています。</p>		
59	<p>5-6 蔵書・資料の収集について</p> <p>(2) 先人や郷土資料を充実</p> <p>・宮沢賢治や高村光太郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの多くの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした、先人関係の資料を積極的に収集・保存します。</p> <p>・先人や郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料を収集・保存し、総合的な管理と情報の集約を図ります。</p> <p>【関連項目】</p> <p>6-1 施設</p> <p>(3) 先人や郷土資料のスペースを設置</p>	<p>内村皓一という写真家の人がおまして、その人の作品とか、あるいはその他諸々の資料が今、岩手県立美術館に寄託されているのだそうです。ところが、作品については管理されていますけれども、いろいろな書簡とか、何か表彰された表彰状とか、そういったものに関しては整理されていない状況だそうです。で、この際、花巻市の図書館で一括して引き受けて管理して、それでそういった外国からの書簡なども内容整理できたらいいかな、と思います。</p>		
60	<p>5-6 蔵書・資料の収集について</p>	<p>蔵書の内容の充実の切り口なんですけれども、やっぱり図書の種類として、大手だとか中央から出てくる一般的なものを広く、普通の人が目にして借りるという部分を花巻でも充実させるというのはあると思うんですけれども、花巻ならではの切り口で、要は一般的でないものって、結局各地域から出された…、日本中あるいは世界中でもいいんですけれども、地域から出された特徴のある資料とか書類とかあると思うんですけれども、花巻の、例えば酒造りに関しての切り口を深めていって、日本中のローカルな酒造りに関する資料が花巻の図書館に行くところあるよ、とか。例えばですけれども。何かそういう花巻をゆかりにしながらも深堀をして、日本あるいは世界中の資料がここに行けばあるというのはおもしろいんじゃないかな、というふうにちょっと感じたので述べさせていただきました。</p> <p>それから、花巻市の姉妹都市が4つあるところのローカルな情報が、ここに行くとい英文等であるというのも1つの考え方としてはあるかな、というふうにも思います。</p>		



No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
61	5-7 図書館情報システム (1) 図書管理システム  <b>【関連項目】</b> 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援 (7) 新たなシステムへの対応	学校の中には学校図書室があります。で、学校の図書室の本も市の税金で買っていて準備しているわけなんですけども、図書を全部一括管理できないのかな、学校の本も図書館の本も市のものなので、全て一括管理できないのかなというのが私の最終的に描いてるんですが、そこまでいかないにしても利用者の登録については、小学校の段階で登録すれば学校のパソコンで借りるのも図書館に行って借りるのも、登録のナンバーで借りられるようにするとすれば、小学校段階で全員登録してしまえば、大人になって図書館に行っても本を借りられる。中学校でも本を借りられる。それを全部市の読書推進の冊数にカウントされる。それを全員小学校段階で登録者にしてしまうことが、一律でしてしまう方がいいのかなのか、強制的になってしまうのかなのかってところがちょっと考えるところなんですけども、そうすると小中高の利用促進にもつながるのかなと思ったりするんですけども、そういったのは可能なんじゃないかな。		
62	5-7 図書館情報システム (1) 図書管理システム  <b>【関連項目】</b> 5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応	まず一番は全ての小中学校の蔵書、これをデータベース化するということだと思うんですが、それには図書館の司書でなくても業者でもやるという話も聞いておりますが、その予算を市教委でしょうか、直接は。市教委で捻出できるかという、何かそういうところで教育委員会に聞いてみます、というお返事を前にいただいておりましたが、そのへんのところいかがでしょうか、事務局のほうで。		
63	5-7 図書館情報システム ②利用者用機器 ・タブレット端末等、移動しながら資料検索やインターネット検索が可能となるよう、利用者貸出用の端末を整備します。 ・CDやDVDなどのパッケージ型電子資料を管内で利用するために、視聴覚機器を整備します。また、視聴覚機器は今後、新しいメディアによる資料の増加に対応するために、メディアの安定性や将来性などを考慮する他、利用者や職員の操作性、衛生面にも配慮した機器を整備します。 ・複写機を設置して、著作権の範囲内で複写サービスを行います。	花巻市では非常にいいシステム、「読書思い出帳」というシステムを取り入れておまして、これは子どもの心をわしづかみにする、いい刺激になるシステムだなと思っております。読書記録にもなります。小学生の時点で市立図書館に要望すれば手帳をいただけるんですけども、どんどん大人になるまでそれをもち続けていけば、きちんとした読書記録になる。これは花巻の特色じゃないかなと常々感じております。過日9月26日の日曜日に民放放送の番組でも東京都の昭島市で導入して非常に利用率が高まったという番組をやっておりましたし、また10月1日には岩手県内の学校図書館研究大会というのを前沢小学校でやりまして、前沢小学校さんでも導入して、全校児童613人のうち一日の学校図書室の平均利用者が600名だと担当者が言っておりました。飛躍的に図書の利用率が高まっているというお話をしておりました。どこかで、試案の段階ですので、「読書思い出帳」について触れていただくのも一つ花巻の特色になるのではないかなと私思います。開発した新興製作所の方に聞いたら、今190台ほど全国各地で販売されてるんですけども、岩手県の場合は導入している学校が結構多いというのが特色です。市内で言えば若葉小、新堀小、それから石鳥谷小学校、もう1校…ちょっと出てきませんが3、4校導入して、学校図書館で非常に活発に利用されております。子どもたちは手帳持つと市立図書館にいつでも使えますし、学校の図書館でも使える。まずはシステムもそうですけれども、そういう手帳の共有化ができていけばいいなと常々感じております。		



No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
64	5-7 図書館情報システム  【関連項目】 5-3 サービスの種類 (6) 情報発信を強化	もったいないのは最近わざわざアップデートがあって、やるときは10冊ほど借りるんですけど、一つの本の欄が大きくなっちゃって、一括した表で見れなくて、プリントアウトした時に3枚くらいにししないとなんなきやなくなってちょっと見づらくなった、逆に見づらくなってるんですけど、そういうのがあって。あともったいないと思うのはせっかく今のホームページはいいんですけど、要は予約とか検索とか、そういう情報、ページが無いんですよね。もっと例えばPR、例えばイベントとか図書館活動の情報とか予約の使い方とか、あとは例えば職員さんのブログで発信するとか、いろんな使い方があると思うんで、これは技術というよりもソフトでやればできる話だと思うので、新しい図書館ができるまでやらないのではなくて、ソフトの面では今からでもできる話だと思うんですよね。だからそういうハードはできないけどソフトではできるということを今から新しい図書館ができるまでの間待たないですぐやって欲しいなと思います。 あと例えば私が館長さんと話したのが、花巻市の図書館の運営方針って毎年つくりますよね。あれを例えばホームページに載せたりとかして、どんどんどんどん発信したらいいんじゃないかなと。紫波町の図書館だかも、ブログで地域おこし協力隊の方が図書館の紹介ということで書いていますよ。必ずしも職員がやる必要はないし。これを知恵を使って、今からできることをソフト面のほうでやって、PRとかそういうことは花巻図書館のほうでもうできると思うので、そういうのをちょっと考えて欲しいなと思います。以上です。		
65	5-7 図書館情報システム  【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援 (7) 新たなシステムへの対応 5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス	非常に情報が便利になって、いろいろなことが予約ができるようになるということは、それだけ本を人の所まで届ける必要が、例えば学校だとか、何度も運ぶということが出てくるということですよ。そちらのほうの頻度と制約を同時にバランス取りながら進めるという、そういうことなんですよね。質問なんですけど。要はいつでもすぐ次の日に届くという代物じゃなくて、各学校に週に1回か2回運ぶようになると、そういうイメージで思ってるんですが。 (座長・早川教授回答後) そうしますと学校図書館と市のセンター図書館との連携が予約だけじゃなくて、司書の派遣だとか合わせて物流も含めたかたちで検討すると、いろんなことが解決する可能性があるというようなので、何らかのかたちでこの中に含めてもいいような感じはして聞いてました。		
66	5-7 図書館情報システム	私ちょっと高齢者とか障がい者の仲間と話しをする機会があったんですが、やっぱり本は、私もそうなんですけども、パソコン通して本買うことはほとんどないです。やっぱり本は本屋にあって、こうして見ながら買うっていう、80歳を過ぎますとね、それが全然違和感がない。それが楽しいんですね。ですから図書館にいても、いろんな仕組みでどんどん借りやすくするのはそれはそれで結構だと思いますけれども、やっぱり図書館の方々にさまざまな意見を聞いて発言したり、聞いてもらって、親切にしてもらおう。これがまた非常にいいんですよね。ですからシステムはシステムでどんどん進化していただきたいけれども、市民サービスの最先端におられる図書館の利用者が、今後とも障がい者とか高齢者が行った場合も、あまり人も少ないとは思ってまますけれども、ぜひ親切にさせていただくという姿勢もぜひ継続していただきたいと思います。以上です。		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
67		<p>検討会議の位置づけの話で、どういうフローで検討が始まっていくか。策定フロー、大まかなスケジュール、ロードマップが無いんですよね。だから今みたいに不安になるわけですよ。で、どういう手順でやるか、手順、例えばここで話せたことを計画室でやったのを教育委員会に出すのか、図書館協議会でやるのかって、いろんな、議会に出すとか、パブリックコメントとか、いろんな手続きがあると思うんですけど、その手続きが分からない。それを出して欲しいと私たちは言ってたんですが、なかなか出ない。で、それを計画するのが計画室の仕事じゃないかと思うんです。どういう書き方になるかは分かんないんですけど、その道筋、手順とか、そういう手続きとかをきちんと示して、そうしないと市民の人もだんだん関心が無くなるわけですよ。私たちのグループでも話が出たんです。それが無いから何やってるか分かんない。そうするとだんだん関心が少なくなっていく。で、市民から関心が少ないって、その原因はあって。それをちゃんと示すのが計画室の仕事じゃないかなと。今の話聞くとやはり皆さんいろんな意見を積み重ねて、もう一回つくってまた積み重ねたら逆じゃないかなと。ちゃんと理念とかコンセプトとかビジョンとかを先に花巻ならではの図書館っていうのをちゃんと議論して、庁内で議論していいと思うんですよ。それをしてからというふうに。順番が逆なわけじゃないかなと思うんですけど、それはちょっと計画室で考えていただけたらと思います。</p>		
68	<p>5-8 職員体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司書資格を持つ職員を計画的に配置するなど、職員体制の充実を図ります。</li> <li>・専門的な知識を深め多様な世代のレファレンスサービス（相談・支援）に対応できるよう研修などにより職員の育成に努めます。</li> <li>・効率的で質の高い図書館サービスを提供するため、図書館業務の自動化と省力化を図ります。</li> </ul> <p>【関連項目】</p> <p>5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割</p> <p>(1) 中央館の役割</p> <p>5-3 サービスの種類</p> <p>(9) 図書館ボランティアとの協働</p>	<p>本当に学校をサポートする司書体制というのは整えていただきたいなと思っています。その反面、今日はすみません、遅れてきたのは休みに中学校の図書室でお話会やってまして、図書ボランティアさんが全面協力で飾りつけから何からやってくださってます。本校については図書ボランティアさんが図書の登録も全部やってくれます。ですので、学校のその図書の登録、蔵書については先生方は携わっておりませんでした。で、そういうことを考えた時に、地域の人材を育てることでそういったサポート体制はできるんじゃないかなと。市の財源には当然限りがありますので、そういった部分も人材育成っていう部分がこの司書資格を持つ職員、職員体制の充実の中に位置づけられて欲しいなど。地域人材の学校サポート体制の育成という部分も欲しいなというように思っています。先ほどの利用者の登録ですが、蔵書の一括管理という話をちょっとさせていただきましたけれども、そういった学校もしくは読書推進、支援、指導に関わるやっぱりセンター機能をこの新図書館は持って欲しいと願うところです。この職員体制に関わって、図書館の職員だから自分の館のことをやればいい。図書館にくる人をやればいいではなくて、花巻市全体の読書推進を担うんだ、背負うんだ、そういう気概を持って学校図書館のみならず読書推進を進めるような職員体制を希望したいなと思っております。よろしくお願いします。</p>		
69	5-8 職員体制	<p>職員体制の、この4行くらい書いてあるんですけど、これは整備に関してのソフトだと思うんです。で、平成29年度新図書館構想って書いてあるんですけど、その書いてあることの運営に関することという項目の中の一つに書いてあって、で、運営に関することが4項目くらいあるんですけど、それが何か4つばらけて今回の計画に書いてあるんですね。運営に関することをもっとさかのぼれば平成25年中央図書館計画にきちんと運営管理に関する項目として、きちんと2、3ページ取ってるんですね。だからこの基本計画を見ると、ハード面は結構書いてありますね。スペースをつくるとかシステムを入れるとか。運営管理のソフトの面がちょっと後回しというか、ちょっと扱いが小さいような感じがするんですね。で、その運営管理ソフト面というのはすごく肝だと思うんですよ。もっと項目を付けて、例えば図書館の方の意見聞くとか、どういうことで、どういう気持ちで働くとか、そういう理念とか、そういうスローガンとかももっと入れて、ばらしちゃうと薄めてしまうので、きちんと運営管理という項目でちょっと計画をつくって欲しいなと思います。</p>		

No.	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別
70	6 新花巻図書館の施設と規模	<p>単独施設か複合施設かの話が議会のほうから提案されたので単独施設って言われましたが、私が聞いた話は、特別委員会を開催しましたよね。で、私聞いたのは、議員さんですね、その特別委員会の方に聞いたら、市からの回答待ちだって言われたんですよ。だから決定ではなく、それこそ計画室とか市からの回答待ちで、待ってる状態って私聞いたんですけど、その単独施設っていうのは決定なんですかね。それとも私、もしかしたらマンションとの複合施設は反対ですという意味で言ったのかなとかって思って、そのへんはどうなんですか。ある程度決定ということいいんですか。決定ってのはもう決まりなんですか。</p>		
71	6 新花巻図書館の施設と規模	<p>単独施設と複合施設の話なんですけど、そうすると例えば食事コーナーだったら単独じゃないとかっていうあれになってる、いろいろ会議室とか、いろいろ例えば中ホールだとかっていうと、展示コーナーとか、あとチャレンジショップとかってのは、それは単独施設に含むっていうことですか。なんか複合施設と考えるのかなって思ってたんですけど、どういう線引きにしているか、よく分かんないんですけど。</p>		
72		<p>私はいろんな自治体、いろんなところのもコピーしたりとか、一関の図書館も見たりするんですけど、そうするとですね、結構抜けているというか、例えば、さっき言ったように策定フローとか、あと上位計画、関連計画との位置づけ、整合性が書いてないとか、あと数値目標ですね、登録率とか、例えば花巻図書館の目標値、数字、登録率とか貸出率とか、あとキャッチフレーズは今につくらない予定とおっしゃいましたが、あとはキャッチフレーズを市民の方から募って、募集して、市民の方の関心をもっと高めるような、そういうのをやってもいいと思うんですよ。ただやる、やらないとかじゃなくて、そういうのを盛り込む、行程に盛り込んで、分かりやすい、読んで分かりやすいというか、そういうのをつくって欲しいなど。ちょっと今のだと抜ける項目が多いような気がするんですけど、それは入れる考えとかありますか。</p>		